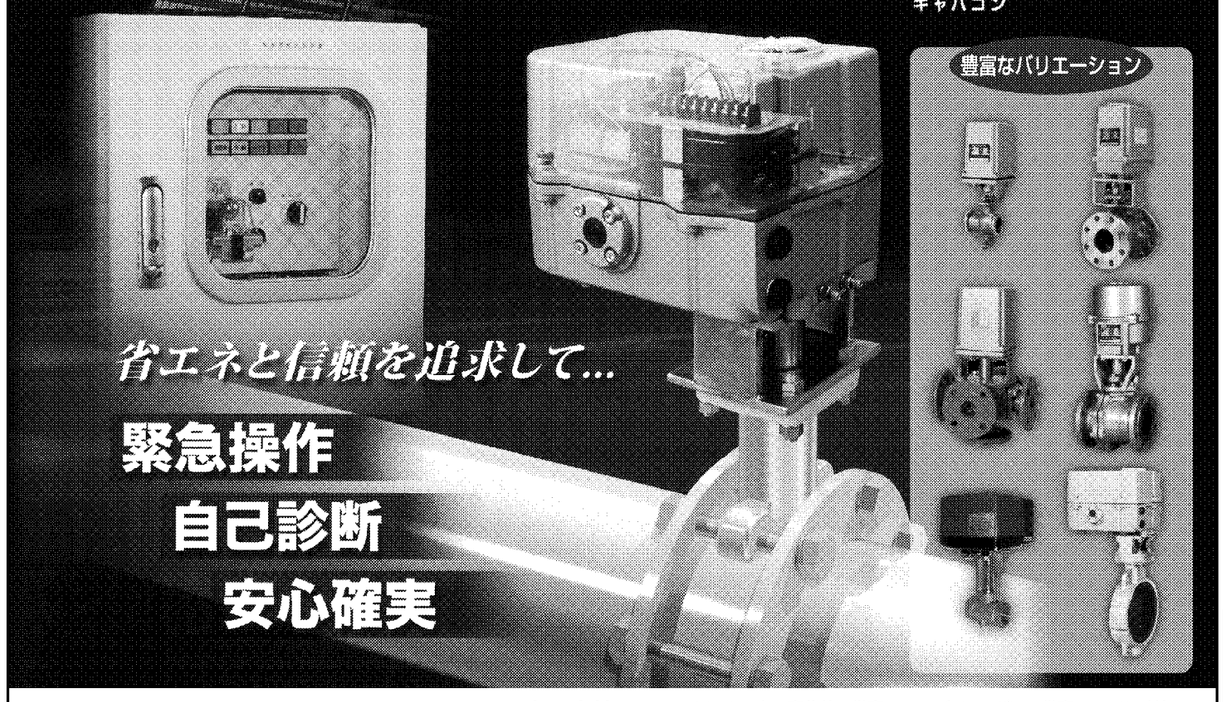
kawaden　Patent

震災時緊急遮断弁システム

電気二重層キャパシタ駆動自動弁 CAPACON キャパコン



省エネと信頼を追求して…

緊急操作
自己診断
安心確実

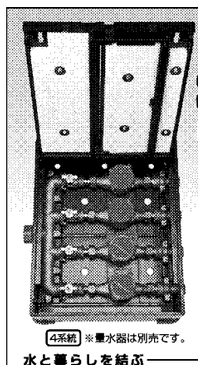
製造・販売
株式会社カワデン
大阪本社　〒554-0052　大阪市此花区常吉1-1-55(テクノパーク常吉11・12号地)　TEL. 06-6468-3511㈹　FAX. 06-6468-3611
東京支店　〒101-0041　東京都千代田区神田須田町1-5(ディアマントビル5F)　TEL. 03-3526-6331㈹　FAX. 03-3256-6224
問い合わせは右記メールにご連絡願います　E-mail　info@kk-kawaden.co.jp

水　いざというとき　ストック機能は必需品

近年ストック機能を重視した
給水方式が増えています。

震災地で受水槽があって水が手に入り
本当に良かったの声が聞かれた。

株式会社 FMバルブ製作所
URL.http://www.fmvalve.co.jp
本社・工場　〒359-0012　埼玉県所沢市坂之下597
TEL(04)2944-2161　FAX(04)2944-0044
東京支店　TEL(03)3949-6151　九州営業所　TEL(096)379-8765
名古屋営業所　TEL(052)483-2301　仙台営業所　TEL(022)247-8761
大阪営業所　TEL(06)6339-1321　札幌営業所　TEL(011)381-1751



メータユニット一体型で1つのメータボックスに
最大4つの量水器を設置可能！
■東京都水道局登録済　■多数の水道事業体からも許認可取得済
集中検針が可能！ 量水器の取替え作業もラクラク！
省施工で 施工時間を短縮！
省スペースで 設置面積が従来品より削減！
新登場!! 散水栓用配管対応タイプ　13mm量水器タイプ
クワトロ　従来品
低層集合住宅用・複式メータボックス
クワトロ Quattro　特許出願中
4系統　※量水器は別売です。
水と暮らしを結ぶ
株式会社タブチ　商品のお問合せは 0120-481-130
検索機能充実の TBC WEB カタログ TABUCHI WEB CATALOG はホームページから！ タブチ 検索
〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1-56 TEL 06-6708-0150(代)　〈支店/営業所〉札幌・盛岡・仙台・北関東・千葉・土浦・西関東・首都圏・静岡・金沢・名古屋・大阪・広島・福岡・南九州・沖縄　モバイルサイトはこちら

国内市場での生き残り
公民連携、標準化を

奥津　バルブメーカーには、グローバル化に取り組む企業がある一方で、国内での事業に重点を置く企業も多数存在します。国内市場で生き残るにはどう考えれば良いでしょうか。

中北　日本には、モノづくりに対する高い技術と職人芸が代々伝承され、連綿と続く老舗ファミリー企業が多くあります。そうした企業を尊ぶ風潮も残っています。また日本は目の文化ともいいます。モノを一生懸命に観察し、触って、研究して、物として完成させてきた。職人芸の世界は強みです。このファミリー企業の比率は世界に類を見ないほど高く、金融や会計関係の方たちは現在これに注目し力を入れ始めています。この日本的な精神の母体ともいうべき企業文化を、自治体とも協力し守る動きです。若い人には積極的に参加していただき、日本らしいビジネスモデルを構築しようとしています。しかし、良い技術を持っているだけでは厳しいと思います。国内他社と連携あるいは業界が音頭をとり、システムとしての事業展開を進めるなど、新たなビジネスモデルを早急に構築することが望ましい。「公民連携（PPP）」が一つのキーワードです。

奥津　グローバル戦略を進める上では、国際標準化への取り組みも重要です。日本バルブ工業会でも、国際標準化機構（ISO）や国際電気標準会議（IEC）などの国際活動に積極的に取り組んでいます。世界標準は世界の技術水準でもあり、追従できない場合、市場から淘汰されることを意味します。技術水準を引き上げ、日本からも新しい規格を提案できれば、グローバル競争で日本に有利に働くと思いますが。

中北　その通りです。世界標準規格作りは、自分のドメイン（領域）を作るという陣取り合戦でもあります。米国はビルゲイツやアップルのようにデファクト型、欧州は皆で主張し討議しながら決めるデジュール型。日本の劣勢は、歴史的には20年程前に世界貿易機構（WTO）の東京ラウンドの際、欧州と違う規格は参入障壁であるとの主張に日本が載せられてしまったことを起源にしています。当時は安くいい物を作れば黙って売れると日本は信じ、心の準備ができていなかったのでしょう。もはやさかのぼれませんね。国際規格は相対的なものです。主張しなければいけない。自ら主張することで技術の世界標準化を進めていく必要がある。そのためにも発信力や提案力を持つことが重要です。規格を作る時、各国他社の事情を察知して助言するようなソリューション（解決策）を提供できる能力が不可欠です。それがないと、たとえ良い技術やシステムを持っていても、世界で生き残っていけません。

奥津　グローバル競争では、目先のことばかりでなくビジネスを長い目で見た時の戦略を考えていかねばいけません。その中で、世界標準戦略も不可欠な経営資源投下の一つと認識して取り組んでいく必要があります。

中北　日本の教育は外国からの教科書を横書きから縦書きに直して学んできました。この明治維新以来のやり方がなお残っているのではないでしょうか。半分でもいいから日本の主張を世界規格に盛り込む、情報発信が必要なのです。大学での教育もここに重点を置きたいと思います。つまり発信力を付けないと生き残っていけません。

実例を二つ紹介しましょう。一つ目はかつての日米自動車電話交渉時の話です。米国から来たエキスパートの名刺の裏には「Strategy & Standard」と書いてありました。両者は本来、一体です。政府を巻き込んだ交渉は壮絶なものだったと記憶しています。規格を制するものがビジネスの世界を制するのです。二つ目は山手線の信号システムの例。世界に冠たる超高度の素晴らしいシステムでありながら、第三者に説明できる文書体系がない。第三者に定義から書き渡せるものがないのです。これでは海外に売れない。世界標準の体を成していないのです。これらの実話は主張できる人材育成の必要性も示唆します。ただ一方で、国際規格はConvenor（議長）とSecretary（秘書）で意外と簡単に修正提案内容を書き加え、本会議に諮ることもあって、この辺の幅のある事務手続き感覚も、若い国際要員には身につけて欲しいと思います。

奥津　IECのTC65（計測と制御部門）では産業プラントワークフローのデジタル・ファクトリー化の規格作業が進められています。またスマートグリッド規格検討も開始されています。私も現在は調節弁分野での国際Convenor（議長）を仰せつかっています。LOPS（機器仕様のデータ化）を扱いますが、これは機器（デバイス）の仕様（プロパティー）の電子化に関するWG（作業グループ）です。計測と制御に関する全ての機器仕様データをコンピューターが読める記述に変換する世界標準規格となります。機器のクラス分類と定義から議論がスタートしています。各国の主張がうまく合意するよう国際貢献したいと毎回念じています。

中北　地域独占型のビジネスモデルから転換が必要とされる東京電力などの電力産業に、成長産業であるエレクトロニクス・ネットワーク産業が参入してきて、もっと高度なネットワークで電力と情報の制御を行っていく。それで支配していく。電力業界はそれを恐れているし、それがおそらくはスマートグリッドの本質だと思うのです。中枢の送配電のところがコンピューター化されてしまうと一発でおしまいですから、それをスマートグリッド・ネットワーク企業は考えているわけです。そのインフラを支えるバルブ類も複合ネットワーク型にどんどん食い込み、対応していけばよいと思います。奥津さんのLOPS規格もまさにそのための第一段階と私にも推察されます。

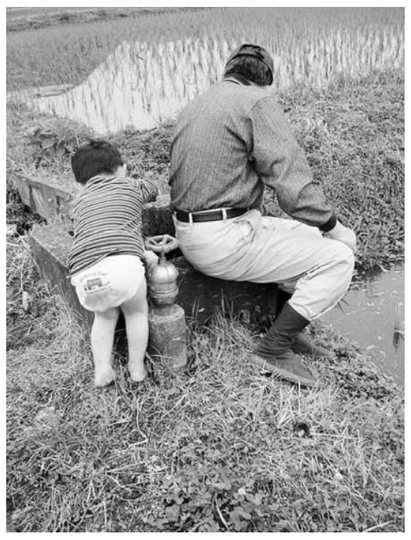
奥津　最後になりますが、冒頭でお話されたバルブは「社会の安全弁」の意味をもう一度お聞かせ下さい。

中北　地震・津波・原発事故―これらから分かったことは全電源喪失しても安全が守られる、ちゃんと作動するという社会を作らないと国民から信頼を失うということです。最後の守りを失った社会の怖さ、惨めさと劣等感を日本国民は共有しました。一方で、団結しようという日本の若者たちの強さも再確認しました。安全への限りない追求。若者は特にこのことに敏感です。安心して頼れる社会の安全ネット、必要なときに安心して頼れるバルブが社会のあらゆる場所にちりばめられるべきです。いざという時に流れを止めたり開放したり、調節したり、または流れ方向を変えたりする機能が根本的に必要です。システムの安全の見直しはたゆみなく繰り返されるはずで、バルブは「社会の安全弁」としての重要性が一層認識されると信じています。

奥津　本日はありがとうございました。

「バルブフォト五七五コンテスト」入賞作品決まる

最優秀作品賞「田んぼにもバルブ」
中村　靖さん（三鷹市）



お米がね　のどがかわいたと　いってるよ

日本バルブ工業会は一般の方から「生活の中のバルブ」をテーマに「写真と川柳」で表現した作品を募集する「バルブフォト五七五コンテスト」を開催した。全国から145作品が寄せられ、9件が入選した。日本バルブ工業会ホームページで全入賞作品をみることができる。

講評

お孫さんのおしりに何とも言われぬ温かみがあります。気持ちが和む作品です。

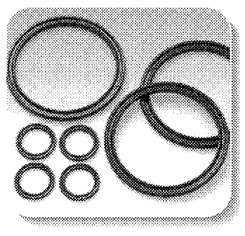
O-リング
㊐日本工業規格表示許可 第386145号
油・空気圧パッキン

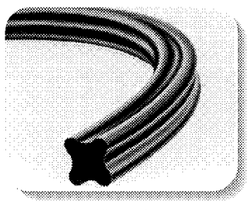
ホームページでご覧ください。
1個からでもご注文承ります。

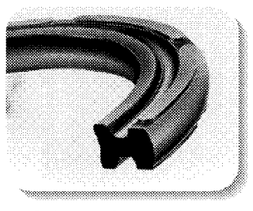
特殊Oリングをお探しの方、御自分で寸法を設定し検索できます。(製品情報/金型検索)

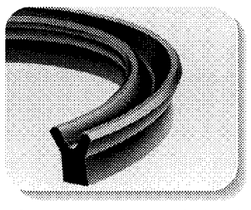
http://www.kyowa-seal.co.jp

豊富さと安さで短期納品！ 各国大手 油・空気圧メーカー続々採用へ。


空気圧用パッキン


XリングKSXシリーズ


ピストンパッキンOPAシリーズ


ミニリップパッキンKSYシリーズ

摺動部用（油・空気圧用）
パッキン
●Oリング
●空気圧用シールパッキン（X・Y・Uパッキン）
●油圧用シールパッキン（X・Y・Uパッキン）
●変圧シール・ガスケット　●ゴム成型金型

■量産システム・最新設備による低価格の実現。■豊富な在庫による即納体制。
■豊富で好きなサイズと巾広い材質に対応可。■シール設計、材料開発、評価試験による商品開発。

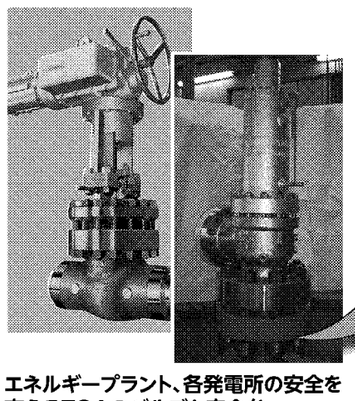
KS 協和シール工業株式会社
〒950-3133 新潟市北区すみれ野2-5-31　TEL(025)259-5776FAX(025)259-6965・259-6984・259-7360
●協和シール・フランス/Avenue de la Gare84400Apt(france)　TEL.(90)74.41.40
E-mail　ksinfo@kyowa-seal.co.jp
ISO-9001認証　ISO-14001認証

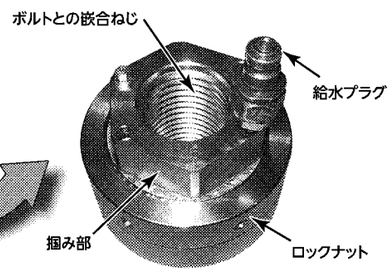
お客様へのおもいを支える技術と創造力

企業活動の改革に、全社員一丸となって取り組む

TVE
TOA Valve Engineering Inc.

我々はプラントの安全と信頼性向上のため、
高い技術によるバルブ製造から取付ナットまで、
常に新しい技術開発に取り組んでおります。


エネルギープラント、各発電所の安全を
支えるTOAのバルブと安全弁



《 新商品　液圧ナットのご紹介 》
◆狭いスペースでのナット締付け・取外し作業に最適!
◆ナットの一括締付け・取外しにより大幅な工数低減を実現!
◆軸力管理による安定した締付け力で安心・安全を提供!

《 本商品に関するお問い合わせ先 》
本社営業：TEL. 06-6416-8861　FAX. 06-6416-1207
東京支社：TEL. 03-5445-4862　FAX. 03-5445-4867

TVE 東亜バルブエンジニアリング株式会社
わがグループは東日本大震災被災地の復旧活動を支援します。
〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
TEL. 06-6416-1184　FAX. 06-6416-1305
http://www.toavalve.co.jp/